

# 思いを紡ぎ、未来へつなぐ 町長が施政方針演説をしました

施政方針とは、町長の町政運営に対する基本的な考え方や予算案および主要な施策について示したもので、一般会計や特別会計、企業会計の当初予算案の提案に先立ち、毎年行われています。



しばさき とくいちろう  
町長 柴崎 徳一郎

## 1. 町政運営の方向性

- 原材料価格の高騰や物価上昇の変化を踏まえ、昨年度に引き続き経済状況を注視。
- 国や県との連携を一層強化し、地域経済の安定と成長を支える雇用施策を推進。
- 社会情勢の変化や新たな課題が生じた場合には柔軟に、迅速かつ的確に対応。
- 人口増加に伴い教育・福祉関連予算や、経常経費が増大。予算の柔軟性低下の現状を踏まえ、最低限必要な事業を確実に実施できる財源基盤の確保が重要。
- 財源確保には、以下のことが不可欠。
  - ・国や県の補助金と支援制度の最大活用。
  - ・PPP<sup>※1</sup>やPFI<sup>※2</sup>などの民間資金活用の検討。
  - ・基盤整備事業や企業立地促進による地域経済の安定化。
  - ・地域間連携を深めた連携型の財政運営の推進。

## 2. 令和8年度の方向性

第6次吉岡町総合計画を土台に、町の運営方針を再認識。そのうえで、町民の生活を最優先に将来に向けた必要な投資は積極的に進めていく。

果たすべき使命

「町民の生活を守り、町の発展を図ること」

※<sup>1</sup>PPP (Public Private Partnership の略)  
公共施設の建設や運営などを、行政だけで行うのではなく、民間企業と協力して進める方法です。民間の知識や工夫を取り入れることで、効率よく、より良いサービスの提供を目指します。

※<sup>2</sup>PFI (Private Finance Initiative の略)  
PPPの一つで、民間企業が資金を用意し、施設の設計・建設から運営までをまとめて長期間行う方法です。長い期間任せることで、コストを抑え、効率的な運営につなげます。

## 吉岡町総合計画に掲げる6つの基本目標

- ①「すべての住民に優しい健康・福祉施策の充実」
  - 誰もが安心して暮らせる基盤を整える。
- ②「学びのまち・吉岡」
  - 学校教育と生涯学習の一層の充実を図る。
  - ICT環境の有効活用や教員の研修。
  - 地域と連携した教育の推進を通じ、子どもから大人へと学びをつなぐ仕組みを強化。
- ③「次世代につなげる生活環境の充実」
  - 安全・快適な居住環境の確保。
  - 交通・防災基盤の強化。
- ④「地域産業の持続的発展支援」
  - 地場産業の振興、観光の促進、雇用の創出を図る。
  - 中小企業へのさまざまな支援。
  - 地域資源を活用した新たな事業創出。
- ⑤「緊急時対応への備えの充実」
  - 消防団の災害対応力強化。
  - 民間事業者との連携強化。
  - 住民への防災啓発促進と地域防災力強化。
- ⑥「将来を見据えた行財政運営の推進」
  - 財政健全性を保ち、長期視点で投資判断。
  - 透明性の高い説明責任の実現。
  - 持続可能な財政運営を確立。

以上の方針により、令和8年度を「思いを紡ぎ、未来につなげるまちづくり」を一層具体化する年とし、「もっと住み続けたいくなるまちづくり」を実現していく。

# 町長施政方針に質問しました

町長施政方針演説の内容に対して、1人30分の持ち時間で質問を行うことができます。今回は、3人の議員が質問に立ちました。



## 人口増加をどう町の力に

こばやし しずや  
小林 静弥 議員



- Q** 人口増加をどのようにして町の地域力や持続可能性の向上につなげていくのか。
- A** 人口増に伴う教育・福祉関連予算増による予算の柔軟性低下の事実は真摯に受け止め、町の魅力を高め、定住人口を増やす取り組み、また、子育て支援策を充実させ、年少人口比率を維持する取り組みなどを行っていききたい。
- Q** 雇用政策で、若い世代や子育て世代が安定し

て働き続けられる環境をどう整えていくか。

- A** 地域で働く選択肢を広げるため、産業団地の整備を進め、保育受け入れ体制の充実など、子育てと仕事の両立支援を一体的に推進していく。
- Q** HiBALIプラン5.0の成果は。
- A** 県内外から注目される、子ども主体の授業実践が行われている。
- Q** 若い世代、新しく住まれた人に対し、防災意識をどのように高めていくのか。
- A** 誰もが気軽に楽しく参加できる「吉岡防災デイズ」などの防災イベントを通じて、防災意識の啓発、向上を図っていききたい。



## 中学校までの給食費無償化は

こいけ はるお  
小池 春雄 議員



- Q** 小学校までの学校給食費の無償化が国の方針で実施される事が決まった。踏み切れずにいた吉岡町でも実施が決まり、保護者は喜んでいる。中学校まで無償化をすることが県内で進んでいるようだが、子育て支援を掲げている吉岡町こそ、実施すべきではないのか。独自策の取り組みの抱負は。
- A** 現在の町の状況を見据えてしっかりと判断

していききたい。

- Q** 限られた財源の中で時代に即した施策を進めていくには慎重な議論が必要と考えるが、数年で廃止したもの、見直しをしたもの、以後の取り組みで検討・廃止対象として考えているものは何か。
- A** 議会議事録の外部委託、放課後児童見守りパトロール、よしおか健康 No.1 プロジェクト、芸術鑑賞補助金、1人暮らし高齢者保養事業、母子父子家庭祝い金、道の駅事業（桜並木里親の会）、幼児用補助用具購入補助など縮小している。



## 公共交通の課題と対応は

やまざき もりひと  
山崎 守人 議員



- Q** 公共交通の課題と対応は。
- A** 町民アンケートを踏まえ、自動車以外の移動手段の確保として、デマンドバスやタクシー券補助の検討を進める。
- Q** 町長施政方針における住環境整備の具体策は何か。
- A** 無秩序な宅地開発を抑制し、用途混在を防ぐため、都市計画マスタープランの改定を

進め、計画的なまちづくりを図る。

- Q** 防災基盤の現状認識は。
- A** 地震対応不可の指定避難所については、民間施設活用や災害協定締結により代替策を講じる。
- Q** 行財政運営と財源確保策は。
- A** 町税収納率向上、遊休資産活用、ふるさと納税拡充など多角的手法で持続可能な財政運営を目指す。